

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(1) ボランティア活動支援窓口の一元化		実施計画事業	1) ボランティア活動支援事業 (No.75)				
予算等事業名	窓口の一元化検討							
目的	現在、複数化で実施しているボランティア活動の支援について窓口を一元化することによって事業の効率化及び町民が理解しやすい行政運営を図る。							
内容	複数にまたがるボランティア団体の窓口を一元化するため、関係各課で調整を行い、窓口の一元化について検討する。							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	なし							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	一元化に向けた検討回数							
前期(27年度)目標値				6回				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:								
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	町の行政改革の項目の中で検討を進める。(ワーキンググループ開催数 年2回)				
	0回							

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	—
	【説明】	
	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】	町が主体となり、各ボランティア団体との調整を行う必要がある。
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	C
	【説明】	未実施であるため、成果は上がっていない。
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	—
	【説明】	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】	必要性も含め、事業実施方法等を検討する必要がある。
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・性質の異なるボランティア団体の窓口の一本化についての整理 ・一本化実施に向けた担当課の調整 	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	ボランティアについては、行政改革においても「育成支援」が項目として掲げられ、町民活動サポートセンター、ITふれあい館、ラディアンなど複数の活動拠点で活動するボランティア窓口の一元化とともに進める必要がある。
今後の方向性	町として、今後増え続ける元気な高齢者の方々が活躍しやすい仕組みを作り、まちづくりに参加していただくことが必要であり、行革ワーキンググループで検討を進める。